



木材加工をベースに機械加工の可能性を拡大し

新しい日本の  
モノづくりを提案する

# Machining JP CORE

新産業メディア  
マシニングコア

2012年4月号





## ホマッグジャパン ハウスメッセ

### 木材加工の新市場を伐り開く 戦略技術を提案

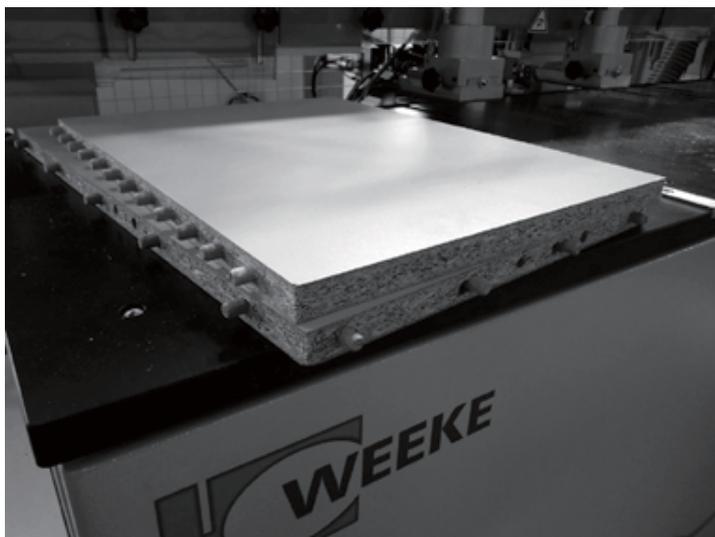
エクト対応をテーマとし、実機による加工実演のほか加工サンプル、技術パネル等の展示、技術セミナーを通して木材加工技術の幅広い可能性を提案した。

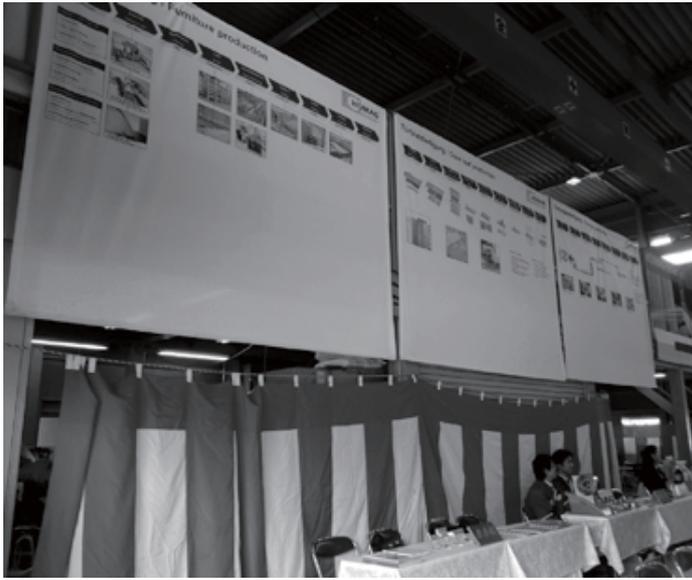
今回のハウスメッセで展示・実演したのはホマッグ社(HOMAG)、ヴェーケ社(WEEKE)、ホルツマ社(HOLZMA)、ブランド社(BRANDT)、リグマテック(LIGMATECH)のラインアップ。CNCマシンではサイジング、ボーリング、形状加工、溝加工、縁貼加工をすべて一回の部材脱着で仕上げる曲面縁貼機能付きCNCマシニングセンター・ヴェンチャー20L／フューチャー(ホマッグ社)、固定C軸インターフェースに用途に応じ

世界の木材加工技術をリードするホマッググループの日本法人、ホマッグジャパンは4月19日から4月21日までの3日間、大阪府東大阪市の本社・ショールームでハウスメッセを開催し最新ラインアップを紹介するとともに、プレゼンテーションから自動生産までを一元処理するeソリューションシステムや塗装技術など木材加工技術の世界最前線に関する情報を提供して、木材加工技術が伐り開く新しい産業像を提案し

た。

ホマッグジャパン(株)(本社・大阪府東大阪市島之内2-4-15、安居実社長)が開催するハウスメッセは春季の大阪ハウスメッセ、秋季の関東ハウスメッセとも関係産業に定着し、木材加工技術の最新技術を提供する場として知られている。今回のハウスメッセはショールーム壁面に掲げるLWP(軽量パネル)、レーザーテック、床材生産、木製ドア生産、木製家具生産分野でのプロジ





てアグリガードを追加できるベストセラーのCNCマシニングセンター・ヴェンチャー08M（ヴェーケ社）、設置面積わずか5㎡のコンパクトタイプCNCマシニングセンターBHX050（ヴェーケ社）、CNCスルーフィードマシンABD500（ヴェーケ社）。パネル加工では加工最適化ソフト・カットライトに対応したランニングソーHP P 250 / 31 / 31（ホルツマ社）、縁貼機は送り速度毎分18～25m（ラウンド最大20m）のアンビション2264（ホマッグ社）、送り速度毎分8～18m

（ラウンド11m）のアンビション1650FC（プラント社）、送り速度毎分9mのアンビション1200（プラント社）、さらにオペレーター一人で連続縁貼加工を可能にして生産効率をアップするリターンコンベアZHR01 / R / 055（リグマテック社）。

なかでも最新機種のABD500は水平ボーリング加工とダボ打ちを高速処理するCNCスルーフィードマシンで、グルーの注入とダボ打ちを同時に行うことで加工効率を向上する。マシン制御は他のヴェーケ社マ

シニングセンターと同じくウッドWOPを使用するため、プログラムの流用ができ、ネステイング加工機やBHX050との組み合わせにも最適な加工機。おもな仕様は部材長さ20～1,250mm、部材幅50～800mm、部材厚10～60mm、軸構成は垂直8pc、水平4pc + 2pc、溝付け鋸軸（X）、ルータ軸。オプションでバーコードに対応する。また、アンビション1650FCは遠隔診断対応で、ラインポイントの調整が簡単に行える最新のコントローラーを搭載し、操作性を向上していた。

